

ごみは、一般的に家庭生活の中から発生する「生活系ごみ」と会社やお店などの事業活動を通じて発生する「事業系ごみ」に分けられます。

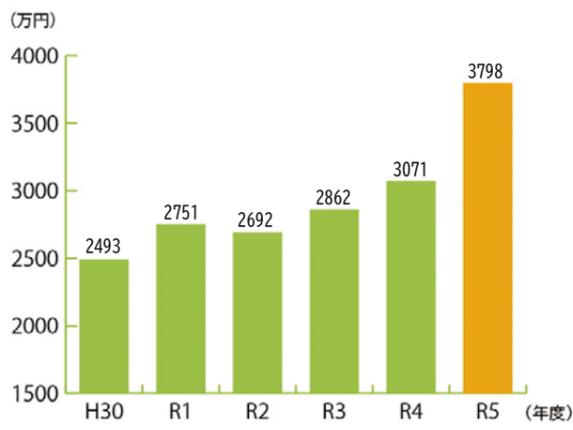
令和4年度の国見町の内訳を見ると、生活系ごみが約7割を占め、「事業系ごみ」は約3割を占めています。(表2)

これらのごみの処分を行っているのが「伊達地方衛生処理組合」です。組合は、国見町のほか、伊達市・桑折町・川俣町からの負担金で運営されています。

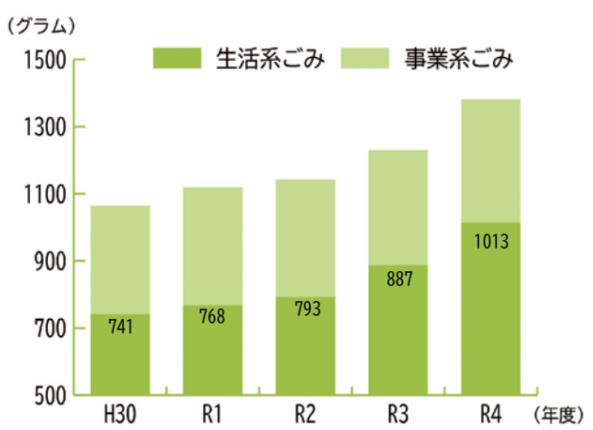
この負担金は、それぞれ搬入されるごみの量によって決まります。

国見町のごみ処理費用は年々増加しており、令和5年度の負担金は3798万円となり、令和4年度から比較すると700万円以上増加しています。(表3)

【表3】ごみ処理費用（伊達地方衛生処理組合負担金）



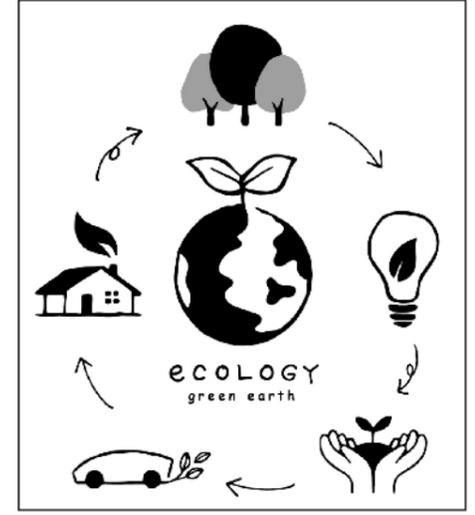
【表2】1人1日あたりのごみ排出量内訳



次世代のために  
地球のために  
始めよう



＋ エコってなんだろう？ －



「エコ」という言葉は日常から耳にするようになってきました。

この「エコ」という言葉はどんな意味なのでしょう。

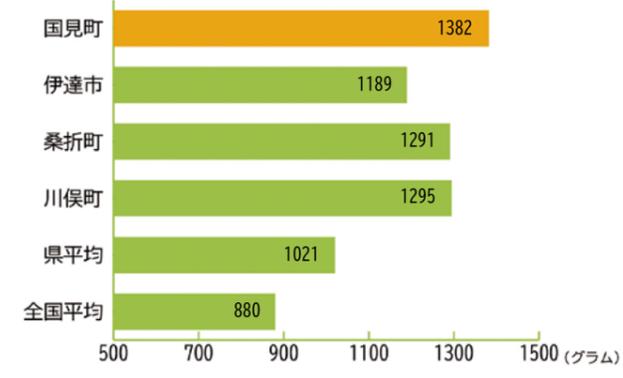
実は2つの意味があります。

1つは「エコロジー」(環境に良い)という意味です。もう1つは「エコノミー」(経済に良い)という意味ですが、どちらか一方の取り組みだけでは十分ではありません。

この2つが繋がることで本来の意味での「エコ」になります。

＋ 数値で紐解く国見町の「ごみ」 －

【表1】近隣市町村と比較



国見町のごみ排出量は県平均、全国平均と比較をしても多く、近隣市町村と比較をしても多い状況がわかります。(表1)

国見町の総合計画では、ごみ排出量の目標を設定しています。その数値は2025年度の時点で1人1日あたり689グラムで、2030年度には619グラムとし、現状と大きく離れています。